

ものづくり

ワークショップ

フェルトで作るモコモコオーナメント

●ねらい●

地域（赤磐市）在住の芸術家に、郷土で活躍する様々なジャンルの芸術家を紹介してもらい、講師として招き、芸術作品を作成する。

作品の作成だけでなく、地域で活躍する芸術家を知ってもらうとともに、参加者同士の交流を図る。

●活動の様子●



皆さん真剣に講師の説明を聞いています



こんなにかわいい作品ができました！

●効果●

独学では得ることが難しいプロの技を教えてもらい、色彩豊かな作品を作ることができた。また、少人数の講座にしたことで、講座生一人ひとりに指導が行き届いたものとなった。また、参加した講座生は互いの作品を通して交流ができ、地域の芸術家の活動を知ることができた。

手話を学ぼう？講座

【ねらい】

平成31年4月1日「里庄手話言語条例」が施行された。地域で暮らす聴覚障害者の方と、コミュニケーションを取りたい方法がわからない。これでは、お互いに歩み寄ることができないと考え、多くの方々が来館される、公民館利用者を対象に、一般教養講座として「手話を学ぼう」を今回企画した。

講師に、浅口市聴覚障害者協会会長・手話サークルわかばの皆さん・手話通訳士などをお迎えし、聴覚障害者に対するコミュニケーションの方法、生活体験談講話、簡単な手話を学ぶことによって、聴覚障害者との関係を築く第一歩とした。

【内容】

- ①聴覚障害者とは・・コミュニケーション方法
- ②聴覚障害者の生活（体験談）

手振りのみで伝言ゲーム

- ③手話（自己紹介・あいさつ）

- ④手話歌

- ⑤質疑応答

オカリナ演奏で「ふるさと」

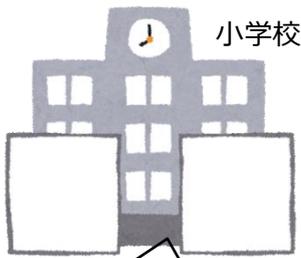
【効果（参加者の声）】

「まずは挨拶から始めてみる」「手話が身近なものに感じられた」「町民が障害者の方と触れ合う機会となり、手話を覚えることで親近感を覚え、社会生活に大いに役立つと思った」などの参加者からの声を聴いた。

こんな事もあった。「あるお店で聴覚障害の方から、持っていたバッグを誉められた。私は先日講座で学んだ事を生かし、身振り・筆談・口話方法で自分の気持ちを伝えた。その気持ちが聴覚障害者の方へ伝わった時、本当に嬉しかった」と公民館へわざわざ来訪して知らせて下さる町民の方がいた。講座を実施して良かったと心から感じると共に、今回の講座は手話に対する理解と普及に向けた実りある学びの場となったと確信した。この講座が、聴覚障害者の方へ「思い」を伝達する方法を「知る」きっかけとなったので、今後も公民館利用者だけでなく、町民の方々にも向けた、手話の学びの場を継続して開催し、笑顔のコミュニケーションが広がればと思う。

「園芸部の校内整備支援」 と「松の剪定講習会」

ひとつの公民館行事で ～つながる地域と学校～

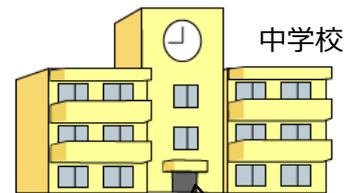


小学校

運動会が近いなあ、草取りをたのみたいけど…



講師を招いて園芸部で松の剪定教室をやるう



中学校

卒業式が近づき正門付近の松の木、剪定したいなあ…



【実践して気づいたこと】

◆公民館

矢掛公民館『園芸部』主催の『松の剪定講習会』を計画すると、剪定に興味のある地域の人が集まって下さり、園芸部員にお願いすると、小学校のお手伝いをして下さる。公民館は一つの事業が実施できる。

◆小学校・中学校

運動会や卒業式を控えた小学校や中学校は、校内の環境美化が図れる。



**公民館のひとつの事業が互いの利点を生み、
引いては、地域と学校の連けいが図れる！**

青少年の心を育む音楽会 ファミリーコンサート

ファミリーコンサートは、奈義町で活動が続ける「やまなみ混声合唱団」の皆さんを中心に、近隣で活躍するクラシックを愛好する、音楽家が集い、音楽を通じての社会教育、青少年健全育成を目的に平成2年の「七夕コンサート」をスタートし、今年で30回目を迎えました。



全体合唱



◆誰もが耳にしたことのある、クラシックの名曲を、弦楽、管楽器、日本の和楽器などで楽しめます。また、平成25年からは、奈義町内の小学生に募集した有志での合唱も定着し、コンサートの最後に出演者全員での「全体合唱」は客席もひとつになり大きな歌声に包まれます。

◆30回の軌跡、ひとつの生涯学習団体が始めた小さなコンサートが広がり、これまで続けてきたことは奇跡的なことです。

